

【考案の動機】

メーカーから配信される災害情報を社内共有する中で、『バケット用交換エッジ取付プロボルトの鋭利部にて指裂傷』の情報が有った。自社でも起こりえる災害のため作業方法を話し合い、労働災害を防止でき、交換工数過多にならないことや強度を念頭に治具を製作。（インパクトレンチを使用してボルトを緩める時に、供回りしてしまい、指で押さえようとすると、鋭利な部位で裂傷の危険がある。）現場での1人作業で手回り工具しか無い場合は手間取る。

【考案の内容】

通常、摩耗した交換用エッジのプロボルトナットを緩め始めると、汚れや錆びでナットが緩まずボルトが供回りしようとする。しかし、プロボルト固定治具を使用して固定していれば、ナットが緩めやすくなった。



【考案の効果】

1人作業でもインパクトレンチが両手で扱え、現場作業でボルトが溶断出来ない時も有効と思われる。特にインパクトレンチ使用時は本治具を利用するように展開している。

現在、飯田営業所内において使用し、本治具に改善点があるか確認中。

本治具は、大型のタイヤショベル向けの治具としては対応しておらず、大型タイヤショベルのエッジ交換には使用していない。（治具の大きさと強度を変更する必要があるため）

今後、これら状況を踏まえて、全社展開と大型機種専用治具の作成の予定である。